

史泉

第四十号

幻の大鑑 発見……………大河内海豪 (1)
長谷寺の大鑑……………末永雅雄 (3)
西本隆旨 (3)

禁書に関する二、三の資料……………大庭 脩 (20)

——長崎聖堂文書研究の一——

八角堂の建立を通じてみた古墳終末時の一様相……………菅谷 文則 (43)

経済的・社会的変容と居住様式の変化(第Ⅱ部)……………橋本 征治 (1)

——散居村における事例——

長崎来航中国人名索引(1)……………松浦 章 (24)

史学関係受贈雑誌論文目録(昭和四十三年一月～十二月)…………… (66)

史 泉

第三十八号 昭和四十四年二月

明治時代における水力発電事業の発達と
工業電化の展開……………末尾 至行

『泊園書生姓名録』について(附原文)……………浅井 允晶

所謂官瀆式土器について(上)……………藤井 祐介

古い手紙と文書あれこれ(3)……………末永 雅雄

緒方洪庵夫人八重関係書状(下)……………古西 義磨

〈書評〉有坂隆道 藤本 篤共著『地方史の研究と編集』……………北崎 豊二

史 泉

第三十九号 昭和四十四年十二月

古代末期の農民問題について……………戸田 芳実

藤原道長淨妙寺創建考……………波多野忠雅
—造営の背景に対する再検討を基調として—

岡倉天心について……………森 ひで子
—明治精神の一考察—

古い手紙と文書あれこれ(4)……………末永 雅雄

経済的・社会的変容と居住様式の変化(第1部)
—散居村における事例—……………橋本 征治

昭和四十三年卒業論文題目(一部・二部・大学院)

史学関係受贈雑誌論文目録(昭和四十二年二月〜十二月)

編集後記

◇本誌の発行が今年度は大変不規則になってまことに申しわけない。

◇昭和四十年三月刊の第三十号は、史学科創立十五周年記念号であった。そこで、本号は創立二十周年記念号にする企画を一応立ててみたが、それも見送って普通号とした。バックナンバーの総目録も割愛し、第五十号に譲ることにした。(創刊号〜二十九号の分類総目録は第三十号に付載してある。)顧みると、最近五年間で十号、つまり年間二号の発行となっている。発行回数が増加が望まれるが、印刷費・郵送料その他の関係もあって、なかなか困難である。

◇本号巻頭には、新発見の長谷寺の大鍔について、末永雅雄先生・西本隆旨氏共稿の概報を掲載することができた。その発見の経緯については、とくに長谷寺の大河内海豪和上に御執筆いただいたとおりで、まことに幻の大鍔の出現であった。甲冑研究史上稀有の例であり、この三月重要文化財に指定せられた。なお、連載中の末永先生の「古い手紙と文書あれこれ」は、今号休載させていただいた。

◇大庭脩教授の「禁書に関する二、三の資料」

は、大著『江戸時代における唐船持渡書の研究』につづいて、この分野でもつきつきと論考を展開しておられる教授が、長崎聖堂文書研究の一として、江戸時代の禁書に関する注目すべき資料を紹介されたものである。

◇菅谷文則氏の「八角堂の建立を通じてみた古墳終末時の一様相」は、建築史的な考察ではなく、八角堂の建築を通じて、仏教的なものが、古墳終末時にいかに作用したかを考察されたもの。最近問題点となりつつある古墳終末時の理解に資するところ大きい。

◇橋本征治氏の論考は、前号の第一部において、砺波・鷹栖における経済的・社会的変化が人々の生活に及ぼした影響を分析されたものにつづいて、第二部として、集落の外的形態や住居形態・機能の変遷をとりあげ、散居村における居住様式の変容を明らかにされたもの。本稿はこれで終結である。

◇松浦章氏の「長崎来航中国人名索引」は、『通航一覽』正編をはじめ、『明安調方記』や、長崎聖堂文庫の「配銅証文」中にみえる長崎来航中国人の人名索引と、唐船番立名の索引である。このような丹念な索引づくりは研究者を益するところ甚大で、計画どおり他の諸資料にも及ばれることを期待したい。

執筆者紹介(掲載順)

大河内海豪 長谷寺寺務長
末永雅雄 本学名誉教授
西本隆旨 本学大学院修士課程在学
大庭 脩 本学教授
菅谷文則 奈良県教委文化財保存課
橋本征治 本学史学科助手(地理学)
松浦 章 本学大学院修士課程在学

史 泉 第四十号

六 百 円 (千 30 円)

昭和四十五年三月三十一日発行

大阪府吹田市千里山

編集兼 発行所 関西大学史学会

振替大阪二六〇一六番

代表者 原 弘二郎

印刷所 京都市南区東九条西岩本町八
大宝印刷株式会社

關西 東西学術研究所紀要 1

昭和四三年三月
B5 五〇〇円

- 諸陵寮式の成立事情その他……………吉永 登
 日本書紀の用語よりみた卷々の特色に
 ついての二、三の考察……………横田 健一
 一特に景行四十年条、神武即位前紀戊午年
 及び天孫降臨段本文条—
 比較の意味 II……………小川 悟
 内閣文庫の購来書籍目録……………大庭 脩
 古事記上巻に見える歌謡と呉音……………高橋 盛孝
 マラヤにおけるザカート制度の現状……………藤本 勝次
 《Les Nouritures terrestres》以前の
 André Gide —モラルの問題(1)—……………重本 利一
- 關西 東西学術研究所紀要 2
 昭和四四年三月
 B5 五〇〇円
- 「孝女知恩」と「貧女養母」……………鑄方 貞亮
 —そこに記された米・粟・租・穀を纏る諸問題—
 漢代の節について —將軍仮節の前提……………大庭 脩
 比較の意味 —文芸社会学の試論I—……………小川 悟
 Gide的美学と古典主義—モラルの問題(2)—…重本 利一
 フィリピン・マインドロ島マンギャン族
 調査報告……………横田 健一
 日中同文訳語交流の史的研究(1)……………芝田 稔

關西 東西学術研究所紀要 3

昭和四五年三月
B5 五〇〇円

- 大宰帥大伴卿の贈答歌……………吉永 登
 東北大学狩野文庫架蔵の御文庫目録……………大庭 脩
 聖堂文庫の賦役府具志目録……………大庭 脩
 明治初期紡績業と水力的基礎……………末尾 至行
 エズラ・パウンドの PAIDEUMA……………安川 昱
 についで……………
 A. Gide の作品における image の發展(3)……………重本 利一
- 關西 東西学術研究所刊行物
 大学
- 〔研究叢刊〕
- 江戸時代 唐船持渡書の研究 大庭 脩 昭42 七、〇〇〇円
 における
 土佐藩 海南政典の研究 石尾芳久 昭44 二、〇〇〇円
 幕末藩法
 藏漢賢 愚 經 高橋盛孝 昭45 五、〇〇〇円
 対訳
- 〔資料集刊〕
- 湖北秋収暴動經過の報告 昭36 七〇〇円
 上海総工会の報告書 昭37 四〇〇円
 中国共産党五年來の政治主張 昭38 七〇〇円
 抗日軍政大学の動態 昭40 七〇〇円
 紀伊国和佐庄歆喜寺文書 昭43 五〇〇円